

チームワーク大切に

大震災経験、この道へ

大牟田

大牟田市消防本部（馬場邦弘消防長）の根引ひとみさん（36）が消防司令補となり、同本部で初の女性分隊長が誕生した。「先輩に教えてもらったことを生かし、チームワークを大切にできる隊をつくりたい」と意気込む。



「チームワークを大切にする」と意気込む根引さん

市消防本部 根引ひとみさん（36）

初の女性分隊長が誕生

出身は兵庫県神戸市。小学6年の時に阪神・淡路大震災を経験した。けがはなく、家族もみんな無事だったが、家の一部が損壊した。その中、全国から駆け付けた救助隊の姿を見て「将来は救急救命士が医療関係の仕事に進みたい」と思うようになった。

救急救命士の専門学校を卒業し、2005年に「救急だけでなく、さまざまなことを勉強したい」と思い、大牟田市消防本部の試験を受験。同本部で初の女性救急救命士として採用された。本署だけでも年間1800件を超える救急出動がある多忙な中、救急車の機関員として勤務。男性と同じく厳しい訓練もこなしてきた。時には、搬送した患者から「ありがとう」と感謝されることもあり、その一言が何よりの喜びになった。

現場では、女性ということで妊婦への対応など、男性隊員よりも患者に安心感を与えることも。「彼女にフォローしてもらい、困難な現場を切り抜けたこともある」と上司の信頼も厚い。

7日からは、救急隊の分隊長として2人の隊員を率いて命の最前線に臨む。「救命士として知識と経験を積み、幅広く勉強したい」と抱負を話す根引さん。「後に続く女性のためにも、いろんな業務をこなして貢献したい」と張り切っていた。

（矢野 大輔）